

「小泉家に残る戦争」展

2019年8月2日(金)～9月1日(日)

昭和のくらし博物館 茶の間・談話室ほか

この夏も昭和のくらし博物館では、館内をまるごと使って戦時中のくらしを紹介した特別展「小泉家に残る戦争」展を開催します。どこの家庭にもあった“戦争”を体験し、平和の大切さを感じてください。身近な体験を語るトークイベントと、戦時中のパン焼き実験も開催します。



会期中は、館内全体が戦時下のくらしの展示となります

特別展関連トーク

予約不要、入館料のみでご参加いただけます

「中国残留孤児のおはなし」

8月25日(日) 午後2:00～3:30 (予定)

今年は特別ゲストとして、元・中国残留孤児の富井義則さん・展子さんご夫妻をお招きし、当時の中国でのくらしと帰国後の苦難などについてお話しいただきます。

「その時、小泉家は」

9月1日(日) 午後2:00～3:30 (予定)

小泉家三女 小倉紀子が、小泉家のくらしを軸に当時の時代背景をからめて戦中戦後の様子を語ります。つらい中でも希望を捨てずに明るくたくましく生きた庶民の姿を想像してみてください。

戦争が終わると、戦闘機に使われるはずだった金属を回収して、パン焼き器が作られました。トークの後は、そのパン焼き器で再現した、パンの試食もありますよ →



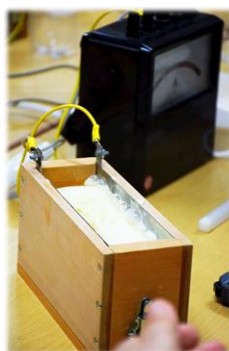
特別展関連実験

「電極式パン焼き器で 当時のパンを焼いてみよう！」

8月10日(土) 午前11:00～午後4:00の間、
随時おこないます(所要時間:約30分)

講師: 神奈川大学理学部 青木孝先生
会場: 昭和のくらし博物館 分室(当館に隣接)
参加費: 300円(別途、入館料をお支払いください)
定員: 各回10名程度

ご参加希望の方は、博物館までお問い合わせください



食料が不足する中、各家庭で工夫して焼いていたのが、代用品としてのパンでした。いったいどんなものだったのか? 青木先生が科学の目で解き明かします。めったに食べられない貴重な再現パン。この機会に皆で味わってみましょう。

この夏は、同じ装置を使ってお米も炊いてみますよ。

昭和のくらし博物館 (9/2～9/12は臨時休館です)

開館日: 金・土・日・祝日
開館時間: 午前10:00～午後5:00 *お盆中も上記の通り開館します
入館料: 大人 500円 小学生～高校生 300円

〒146-0084 東京都大田区南久が原2-26-19
http://www.showanokurashi.com
mail@showanokurashi.com
tel/fax 03-3750-1808

(電話でのお問合せは開館日の開館時間中にお願います)

